



Close up だて

— 二科展初入選 これからも描き続けたい —



はやかわ いくこ
早川 郁子さん
(末永町)

幼

い頃、クレヨンや色鉛筆などで気ままに描いた絵。身近だった絵の世界は、成長するうちに遠くなっているかもしれせん。皆さんは最近「絵」を描いていますか？

今回、お話をうかがった早川郁子さんは、子育てを終えひと段落してから油絵を始められたそう。「きっかけは市民講座の募集。色や構図などの技術的なことを知れば知るほど描くことが面白くなりました」

初めのうちは、4〜10号程度のキャンバスに花などを楽しみながら描いていましたが、あるときから見たままのものを描くことに物足りなさを感じ、描くことを止めた時期もありました。それでも生来の「絵が好き」という気持ちは抑えきれず、現在に至ります。

今回の作品は、銃弾が風化していく様子を描いたそう。



入選作品「風化する銃弾Ⅰ」(80号)と早川さん

「自分の気持ちや頭の中にあるイメージにどう近づけて描けるのか。銃弾(＝戦争)が風化していく、辛いことを忘れていく時間を表現したかった。絵の具に砂を混ぜて彩色したのがポイントです」

入選した絵には、世界中の子どもたちが等しく豊かに暮らせる世の中になって欲しいというメッセージが込められている。

「初めて応募した作品展で初入選なんてすごうれしかった。家族や指導してくれた先生など周りの人がいてこそ描けた絵だと思っ。これからも少しでも上達し続けたいと思います」

年を経てから始めた習い事を気長に続け、大きな華を咲かせた早川さん。新しく始めることに遅いということはないと気づかせてくださいました。

皆さんも、新しい1歩を踏み出してみませんか。



愛用の画材でこれからも描き続けます

表紙のはなし



伊達幼稚園で毎年恒例の交通安全教室が行われ、119名の園児が参加しました。

交通指導員が横断歩道のわたり方を実演。来年小学校1年生になる園児たちはマスコットキャラクターと一緒に横断歩道を渡ります。教えてもらった交通ルールを守り、大きく手を上げ、上手に渡ることができました。

楽 画 記

■係の中でアイドルの話をすることがあります。テレビ好きな私は、少し前に活躍していたアイドルについても知っているつもりでしたが、(と)さんと(や)さんの会話を聞いているとほとんど知らないことばかり。そのおかげ?もあって着々といういな知識が身についている気がします。ちなみに私はモー●世代です。(た)

■「微笑むと友達が増え、しめつ面をするときツガが増える」…どこかで聞いたこの言葉、全くもってその通り。最近では、席前を通りかかるとにまで眉間のツガを指摘されるようになりました。普通にPCの画面を見ているだけに…目の疲れなのか気持ちの疲れなのか、何にせよこのツガが定着しないことを祈るのみです。(や)

■皆さん、雪虫をご存知ですか?白いふわふわした綿毛のような虫ですが、こう呼ぶのは北国独特だそうです。雪を連想させる様子で冬が始まるこの時期に飛び始めるからでしょうか。子どもの頃、自転車に乗ると冷たい空気とともに顔にぶつかり、ややもすると口に入るという…。ざらっとした感じは忘れられない冬の風物詩です。(と)